

第 2 期那須塩原市保育園整備計画骨子（素案）

1. 計画の背景と目的

項	概要	主な内容
1. 計画の背景と目的	計画策定の背景及び趣旨について記載します。	保育環境を取り巻く状況などを記載し、保育園整備計画の趣旨について記載

2. 計画の位置付けと期間

項	概要	主な内容
(1) 計画の位置付け	「第 2 次那須塩原市総合計画」を最上位とした福祉部門の計画体系の中に位置付けられた計画であり、市で定める「子ども子育て未来プラン」との整合性を図り、市内保育園等の整備及び運営に関する具体的な計画として定めます。	本市における計画の位置付けを記載
(2) 計画の期間	令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度までの 5 か年計画とします。	同左

3. 現状と課題

項	概要	主な内容
(1) 施設	市内の教育・保育施設の状況について記載いたします。	
◆市内教育・保育施設	市内の保育園・認定こども園・幼稚園・地域型保育園の H27～H31 の利用定員の推移について記載します。	平成 27 年度からの子ども子育て新制度に合わせ推移を記載。また後期計画では記載のなかった 1 号・2 号・3 号認定に分けて記載
◆施設	市内の保育園・認定こども園・幼稚園・地域型保育園の H27～H31 の建物の概要について記載します。	各園の所在地・開園年月日・建築年月日・構造・延床面積・敷地面積・借地についての情報を記載します。
(2) 人口推計	平成 27 年度から平成 31 年度までの人口の推移について記	市全体の人口・就学前人口について記載

	載します。	
(3) 児童	市内の教育・保育施設を利用する児童の情報について記載します。	
①市内教育・保育施設		
◆入園児童数	平成27年度からの施設の入園児童数の推移について記載します。	各年度の保育園・認定こども園・幼稚園・地域型保育事業の1号・2号・3号について記載
◆入所率	平成27年度からの各園の入所率の推移について記載します。	各年度の保育園・認定こども園・幼稚園・地域型保育事業の1号・2号・3号について記載
◆保留児童数	平成27年度からの保留児童数及び待機児童数について記載します。	厚生労働省へ報告している保留児童数及び国定義待機児童数より記載
◆入園希望理由	平成31年度の入園申請書に記載の入園希望理由について記載します。	各年度の保育園・認定こども園・地域型保育事業について記載
◆保留児童分布	平成31年度の保留児童がどの地区にお住まいかを地図に落とし、地域差を把握します。	
②認可外保育施設	市内に存在する認可外保育施設についての情報を記載します。また企業主導型保育施設について追記いたします。	施設数の推移・入所児童数・年齢別入所児童数について記載
(4) 職員	市内教育・保育施設の職員の状況について記載します。	
◆職員数	正職員保育士の職員数及び年齢分布について記載します。	2019年度の正職員について記載
◆職員の配置	公立保育園各園の正職員及び臨時職員数について記載	2019年度の正職員及び臨時職員について記載
◆保育士確保方策	市内での保育士不足の現状について記載。また現在までに取り組んできた保育士確保方策についても記載します。	記載予定 ・作新大学との連携 ・雇い上げ事業 他
(5) ニーズ調査結果	ニーズ調査の結果について記載いたします。	
◆施設利用状況・希望状況		68.6%が利用

	◆影響を与える環境		66.1 が教育保育施設が与える
(6)	国の施策	平成27年度からの国の施策について記載します。	記載予定 ・待機児童解消加速化プラン及び子育て安心プラン ・保育士に掛かる処遇改善 ・施設整備に掛かる制度拡充 他
(7)	第1期計画の進捗	第1期保育園整備計画（後期計画）について総括します。	
	①公立保育園の民営化		
	◆いなむら	平成31年度に民営化し運営開始までの経緯について記載します。	
	◆ひがしなす	保護者との協議の経過について記載します。	
	◆わかば	いなむら保育園との合併の解消、その後の保護者との協議、土地の確保について記載します。	
	②私立保育園・認定こども園の新設等	平成27年度から開園した私立保育園及び認定こども園の状況について記載します。（民営化除く）	マロニエ・黒磯幼稚園・黒磯いずみ・虹ヶ丘・すぎのこ幼稚園・第2ひかり・西那須野幼稚園・国福KH・あったか・ひかりみどり・ひかりおおやま
	③第1期計画における課題	前期計画で達成できなかった事案について記載します。	・民営化予定園2件（ひがしなす・わかば） ・保留児童解消
(8)	子ども子育て未来プランとの連携		
	①保育需要に対する供給の確保について	子ども子育てプランとの連携について記載します。	量の確保方策との並びを取ることを記載
	②保育の質の確保		保育の質の確保について並びを取ることを記載

4. 事業者アンケート調査

項	概要	主な内容
(1) 保育園	今後の施策展開に向け・市内事業者の移行確認のためのアンケート結果について記載します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備・修繕希望 ・ 施設利用定員拡大・縮小の予定（新規園開設も含む） ・ 認定こども園移行希望 ・ 民営化応募意欲確認
(2) 認定こども園		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備・修繕希望 ・ 施設利用定員拡大・縮小の予定（新規園開設も含む） ・ 民営化応募意欲確認
(3) 幼稚園		<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園移行希望
(4) 地域型保育事業		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備・修繕希望 ・ 施設利用定員拡大・縮小の予定（新規園開設も含む） ・ 保育園や認定こども園移行希望 ・ 民営化応募意欲確認
(5) 認可外保育事業		<ul style="list-style-type: none"> ・ 認可希望確認

5. 基本方針

項	改訂方針案
基本方針 1 那須塩原市子ども・子育て未来プランと連動した対応を図ります。	<p>左の基本方針及び整備に向けた方針は平成 27 年度保育園整備計画（後期計画）【改訂版】のものです。</p> <p>基本方針及び整備に向けた方策については、今後の課題を第 2 期子ども子育て未来プランと併せて分析しております。</p> <p>現在、特にあげられる課題としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増え続ける 0 歳児から 2 歳児の保育ニーズの高まり。 ・ 予想以上に進む少子化 ・ 公立保育園園舎の老朽化の進行 ・ 待機児童の解消 <p>が挙げられます。</p> <p>0 歳児から 2 歳児の保育ニーズの高まりは、年々高まる傾向となっておりますが、原因として女性の就業率の上昇や保育園入園のための早期申込みなどが挙げられます。ただし、同時に少子化が進むという現状が挙げられ、平成 31（2019）年 4 月 1 日現在の当市 0 歳児人口は 851 人と予想以上の少子化となっております。今後は少子化を考慮しながらニーズを満たすための整備について検討する必要があります。</p> <p>また、公立保育園の老朽化について、20 年以上経過している施設が大半であります。公立保育園が行政と直結した施設であり、虐待や発達支援への対応に長けている点で、一定のニーズが見込まれることから、公立保育園の在り方について検討し、存続させる園や民営化する園、廃止する園など検討していきたいと思っております。</p> <p>また、他にも保育士確保の点など様々な問題を総合的に考慮し、現行の基本方針をアップデートし、整備に向けた方策を策定していきます。</p>
基本方針 2 入園待ち児童の解消を図り、原則として定員の弾力的運用の廃止を図ります。	
基本方針 3 少子化の進展を考慮した保育園整備等を図ります。	
基本方針 4 引き続き公立保育園の民営化を推進します。	
6. 整備に向けた方策	
施策の方向	
施策 1 私立幼稚園の認定こども園移行の促進	
施策 2 公立保育園の民営化の推進	
施策 3 既に民営移管した保育園等の整備の促進	
施策 4 既存保育園の定員増	
施策 5 認可外保育施設の家庭的保育事業等への移行の促進	
施策 6 幼稚園の活用施策の検討	
施策 7 計画的な職員の採用	

8. 特定課題の対応と方向性

施策の方向	具体的施策	主な内容
(1) 民営化の推進に当たって		
(2) 新たな整備計画等の策定について		
(3) 公立保育園給食の業務委託の検討について		
(4) 施策の実施に伴う財源について		
(5) 認可外保育施設の在り方について		

左の特定課題の対応と方向性は平成 27 年度保育園整備計画（後期計画）【改訂版】のものです。

特定課題についても、基本方針・整備方策と同じく、第 2 期子ども子育て未来プランと併せて分析を行い、新たに策定した基本方針・整備方策の中でも特に問題とされる特定課題について記載します。